

標準委員会 システム安全専門部会 定期安全レビュー分科会
第 25 回定期安全レビュー分科会 (P6Ph2SC25) 議事録

1. 日 時 2013年7月9日 (火) 13:30~16:30

2. 場 所 東京大学工学部 8号館 809会議室

3. 出席者 (敬称略)

(出席委員) 岡本主査 (東大)、伊藤副主査 (JNES)、成宮幹事 (関電)、上野委員 (MRI)、
倉本委員 (NEL)、中野委員候補 (関電)、工藤代理 (JAEA) (中村委員代理)、
山崎委員 (原電)、平川委員 (原安進)、藤本委員 (JNES)、村上委員 (東大)、
伊藤委員候補 (中部電)、渡辺 (沖) 委員 (東電) (13 名)

(欠席委員) なし

(常時参加者) 古賀(電発)、日渡(電中研)、松本(四電)、三山(NEL)、角田(東電)、下川(原安
進)、神田(中国電)、森松 (関電) 、林 (関電) (9 名)

(傍聴者) 島田 (原安進)

4. 配付資料

P6Ph2SC25-0	第 25 回 P S R 分科会議事次第
P6Ph2SC25-1	第 24 回 P S R 分科会議事録 (案)
P6Ph2SC25-2-1	人事について
P6Ph2SC25-2-2	定期安全レビュー分科会名簿
P6Ph2SC25-3-1	改訂実施基準案 (1 章~5 章)
P6Ph2SC25-3-2	4 章目的 各委員からの提案
P6Ph2SC25-3-3	平川委員案 (目次、4 章、5 章、6 章、解説)
P6Ph2SC25-3-4	改定実施基準案 (7 章)
P6Ph2SC25-3-5	実施基準案 (8 章) と SSG-25 比較表
P6Ph2SC25-3-6	平川委員案 (9 章 PSR 後の活動)
P6Ph2SC25-3-7	改定実施基準案 (10 章報告書の作成)
P6Ph2SC25-4	今後のスケジュール
参考資料 1	安全性向上評価 (SAR) の届出規制と定期安全レビュー (PSR) の関係
参考資料 2	第 24 回 PSR 分科会議事メモ

5. 議事内容

議事に先立ち、開始時点で委員 11 名中 11 名が出席しており、分科会成立に必要な定足数を満足している旨が報告された。

(1) 前回議事録について (P6Ph2SC25-1)

成宮幹事より、前回議事録の紹介があり、承認された。

(2) 人事について (P6Ph2SC25-2-1、2)

成宮幹事より、以下の人事案件が紹介され、審議の結果、新委員が承認された。また、退任委員、退任常時参加者の報告があった。

- ・ 委員の承認
伊藤 圭介 (中部電力株)
中野 利彦 (関西電力株)
- ・ 委員の退任【報告事項】
渡辺 哲也 (中部電力株)
左藤 善昭
- ・ 常時参加者の承認
なし
- ・ 退任常時参加者【報告事項】
安田 久 (日本原子力発電株)

(3) 改訂文案について (P6Ph2SC25-3-1～7)

各章の改訂文案について各担当から説明があり、内容について議論した。主な議論は以下の通り。

a. 4章目的 (説明：成宮幹事)

○各委員からの提案について議論した結果、4章目的は以下の文案とすることとなった。基本的には、この文案で **FIX** とするが、次回分科会で全体の流れを踏まえ確認し、必要に応じて修正を実施する。

「PSR の目的は、当該プラント設置者自らが、個々の安全因子に対し日常の品質保証活動とは一線を画した先見的、戦略的、詳細なレビュー評価を行い、且つ安全因子のレビュー評価結果に基づく総合的評価を実施して、妥当且つ実行可能な安全向上措置の抽出と実施方針を定めることである。これにより卓越した安全水準を維持しつつ安全運転を継続できる見込みを得ることができる。」

b. 5章実施原則 (説明：成宮幹事、平川委員)

○5.1 一般事項

- ・ PSR は 10 年毎に実施する、結果を公開する、という 2 つの内容を追加すること。

○5.2 評価項目

- ・ 平川委員案のレビューのステップを「5.2.0 評価のプロセス」として事務局案に入れ込むこと。

c. 7章安全因子 (説明：成宮幹事、渡辺委員)

○因子 8～因子 14 まで文案を確認し議論した。各因子における主なコメントは下記の通り。また、宿題として、今回議論できなかった因子 1～7 に対し、各委員はコメントを提示する

こととなった。

各因子に対して共通となるコメントは以下の通り。

- ・ 本文に記載すべきこと、附属書に記載すべきことを明確に分けること。
- ・ 具体性に欠ける表現（例：適切に、十分に、十分可能な・・・等）については、何を実施すればよいか分かるような具体的な表現に修正すること。
- ・ 日常行っていることとは違う視点で見る評価とすること。
- ・ 現状問題ないことの確認ではなく、将来の安全性向上に絞った評価とすること（「温故知新」の「知新」の部分に絞っての記載とすること）

<7.8 安全実績>

- ・ P17,18 に記載の【附属書に記載する事項】については、しっかり大事なことを記載しているという印象だが、規定か附属書かはきっちり評価したうえで議論したい。
- ・ 安全指標（WANO、IAEA等）については、具体例を記載すること。
- ・ レビュー項目の例として記載の8項目は例ではなく、全て実施すべき内容。

<7.9 経験及び研究結果の利用>

- ・ 運転経験だけでなく、研究成果についても具体例を示すこと。
- ・ 第3者レビュー（例えば違う発電所が見る等）について、解説に記載してはどうか。
- ・ 運転経験の調査・評価は毎年行っており、日常やっていることとの差別化が必要。

<7.11 マニュアル類>

- ・ ストレステストのようなものを実施し、耐えられるのか見るといのはどうか。また、サンプリングを与えて詳細に評価すべき。
- ・ QMS（毎年）で実施されている活動と違う視点でのレビューとすること。

<7.12 人的資源>

- ・ 実際の評価はサンプリングでやらないと難しい。マネジメントのレビューについては、全体的にサンプリングでやることになるのでは。全体的にその方向性で記載した方が、標準としても分かりやすい。
- ・ 訓練のマニュアルがどのように改善されてきたかを見る等、普段見ないものを別の視点で見るといい。

<7.13 緊急時計画>

- ・ 防災ストレステストのようにサンプリングで評価してはどうか。
- ・ 因子 12,13 は非常に重要。10年、20年たっても形骸化しないよう、ここをやるとメリット、インセンティブがあると示せばよい。

<7.14 放射線>

- ・SSG-25は何を狙って、わざわざ別のマネジメントとして特出ししているのか。その辺のニュアンスが文章に反映されていない。
→環境への負荷という意味では。
- ・レビューの視点としては、自治体も放射線の監視をしている。それとの相対的な比較を含めるとはっきり書いてもよいかもしれない。

d. 8章総合的評価（説明：成宮幹事）

- ・8.2の規制要件、過去のPSR結果等の調査については、総合的評価ではなく、その前段でもいいのでは。なぜ急に出てくるのか違和感がある。
- ・全体に曖昧な文章となっている印象。SSG-25の記載は踏まえるが、我々が実施しやすいよう全体的に修文すること。

e. 9章レビュー後の活動（説明：平川委員）

- ・9章については、PSRのスコープ外ではという議論があり、10章報告書の作成の中に、10.8としてPSR後の活動に簡単に触れることとなった。

f. 10章報告書の作成（説明：平川委員）

- ・規制機関に提出するという内容は今の段階では記載しないこととする。

(4)今後のスケジュール（P6Ph2SC25-4）

○資料に基づき今後のスケジュールについて、成宮幹事から説明があった。主なポイントは以下の通り。

- ・12月専門部会、3月標準委員会に本報告というスケジュールとする。
- ・8月には文案（本文の規定と附属書の書けている部分）を部会宛にメールで送り、ご意見を頂く。

○次々回以降の分科会の予定を以下の通り調整した。

・第27回PSR分科会

日時：8月8日（木）13:00～16:00

場所：東京大学（会議室は未確定）

・第28回PSR分科会

日時：8月26日（月）9:40～12:00

場所：原安進 三田ベルジュビル 13F 1,2 会議室

以 上